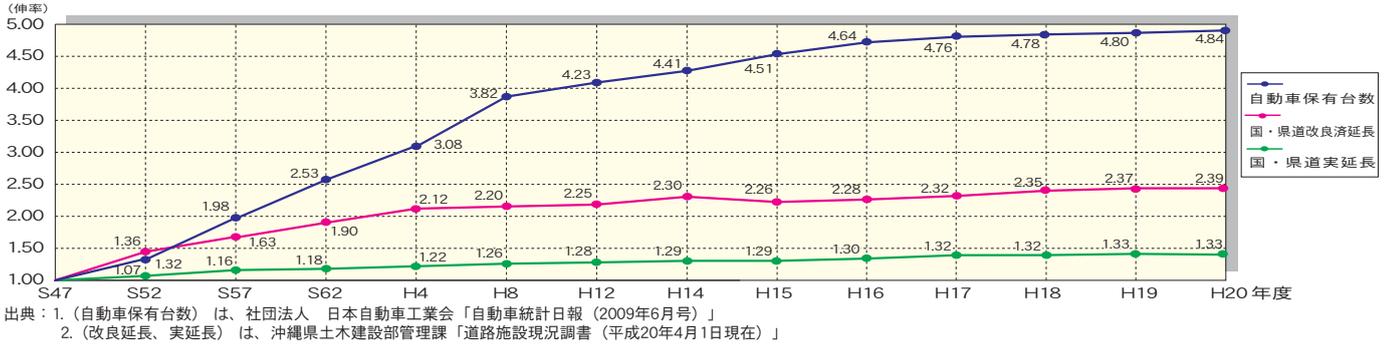


## 道路改良と自動車保有台数の伸び率比較



## 全国・沖縄 道路の普及率比較

道路統計年報(2009年版)平成20年4月1日現在

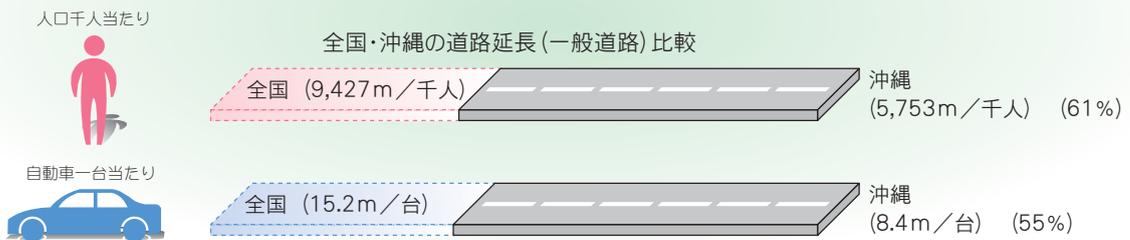
道路種別	全国 沖縄 県別	実延長		改良済延長		舗装済延長		人口千人当り		人口千人当り		車千台当り		車一台当り		面積km <sup>2</sup> 当り		整備済延長		人口千人当り		
		(A)	(B)	B/A * 100	(C)	C/A * 100	改良済延長率	舗装済延長率	道路延長	率	道路延長	率	改良済延長率	舗装済延長率	道路延長	率	(B')	B'/A * 100	道路延長	率		
高速自動車国道	全国	7,560.1	7,560.1	100.0	7,560.1	100.0	59	100.0	59	100.0	96	100.0	0.096	100.0	0.096	100.0	20	100.0	?	?	59	100.0
	沖縄	57.3	57.3	100	57.3	100	42	70.3	42	70.3	60	63.2	0.060	63.2	0.060	63.2	25	125.9	?	?	42	70.3
一般国道(指定区間)	全国	22,786.6	22,780	100	22,481	98.7	178	100.0	176	100.0	288	100.0	0.288	100.0	0.284	100.0	60	100.0	13,466	59.1	178	100.0
	沖縄	306.4	305.1	99.6	306.4	100	222	124.3	223	126.5	323	112.2	0.322	111.7	0.323	113.7	135	223.3	156.5	51.1	223	124.8
一般国道(指定区間外)	全国	31,949.3	27,197	85.1	27,275	85.4	213	100.0	214	100.0	404	100.0	0.344	100.0	0.345	100.0	85	100.0	21,028	65.8	250	100.0
	沖縄	166.8	159.6	95.7	155	92.9	116	54.5	113	52.7	176	43.6	0.168	49.0	0.164	47.4	73	86.7	147.9	88.7	121	48.4
一般国道	全国	54,735.9	49,977	91.3	49,756	90.9	391	100.0	390	100.0	692	100.0	0.632	100.0	0.629	100.0	145	100.0	34,494	63	429	100.0
	沖縄	473.3	464.7	98.2	461.4	97.5	338	86.3	335	86.1	499	72.1	0.490	77.6	0.487	77.4	208	143.6	304.4	64.3	344	80.2
主要地方道	全国	57,890.4	44,334	76.6	41,572	71.8	347	100.0	326	100.0	732	100.0	0.561	100.0	0.526	100.0	153	100.0	35,894	62	453	100.0
	沖縄	407.5	373.4	91.6	383.2	94	271	78.2	278	85.5	430	58.7	0.394	70.3	0.404	76.9	179	116.9	307.1	75.4	296	65.3
一般都道府県道	全国	71,502.5	43,025	60.2	37,882	53	337	100.0	297	100.0	904	100.0	0.544	100.0	0.479	100.0	189	100.0	38,761	54.2	560	100.0
	沖縄	632.1	549.1	86.9	524.2	82.9	399	118.4	381	128.4	667	73.7	0.579	106.5	0.553	115.4	278	146.8	476.7	75.4	459	82.0
都道府県道計	全国	129,392.9	87,359	67.5	79,454	61.4	684	100.0	622	100.0	1,636	100.0	1.105	100.0	1.005	100.0	342	100.0	74,654	57.7	1,013	100.0
	沖縄	1,039.6	922.5	88.7	907.3	87.3	670	98.0	659	106.0	1,097	67.0	0.973	88.1	0.957	95.3	457	133.4	783.8	75.4	756	74.6
市町村道	全国	1,012,087.8	565,740	55.9	183,848	18.2	4,431	100.0	1,440	100.0	12,798	100.0	7.154	100.0	2.325	100.0	2,678	100.0	565,740	55.9	7,926	100.0
	沖縄	6,346.2	3,902.4	61.5	2,418.1	38.1	2,836	64.0	1,757	122.1	6,694	52.3	4.116	57.5	2.551	109.7	2,788	104.1	3,902.4	61.5	4,612	58.2
計	全国	1,203,776.7	710,635.9	59.0	320,617.2	26.6	5,565	100.0	2,511	100.0	15,222	100.0	8.986	100.0	4.054	100.0	3,185	100.0	674,889	56.4	9,427	100.0
	沖縄	7,916.4	5,346.9	67.5	3,844.2	48.6	3,886	69.8	2,794	111.3	8,351	54.9	5.640	62.8	4.055	100.0	3,478	109.2	4,990.6	63.5	5,753	61.0
沖縄シェア		0.7	0.8	114	1.2	182	69.8	69.8	111.3	111	54.9	54.9	62.8	62.8	100.0	100	109.2	109	0.7	113	61.0	61

(注)各数値は、単位未満を四捨五入したため、数値が合致しない場合がある。全国面積377,944km<sup>2</sup>、沖縄2,276km<sup>2</sup>、全国総人口127,692千人、沖縄1,376千人、全国自動車台数79,081千台、沖縄948千台である。  
 改良済延長で国道、県道は幅員5.5m以上、市町村道は5.5m未満を含む。舗装済延長は簡易舗装除きである。

## ●道路延長

本県は、陸上交通のほとんどを道路に依存していることから、道路整備が県民生活や産業活動に与える影響は極めて大きく、重点的に整備を推進しています。

しかし人口、自動車台数当たりの道路延長は全国平均の約6割程度と低く、増加する交通需要や高速性、快適性等高度化、多様化する利用者のニーズに対応するには、なお一層の体系的な整備とその質的向上が必要です。



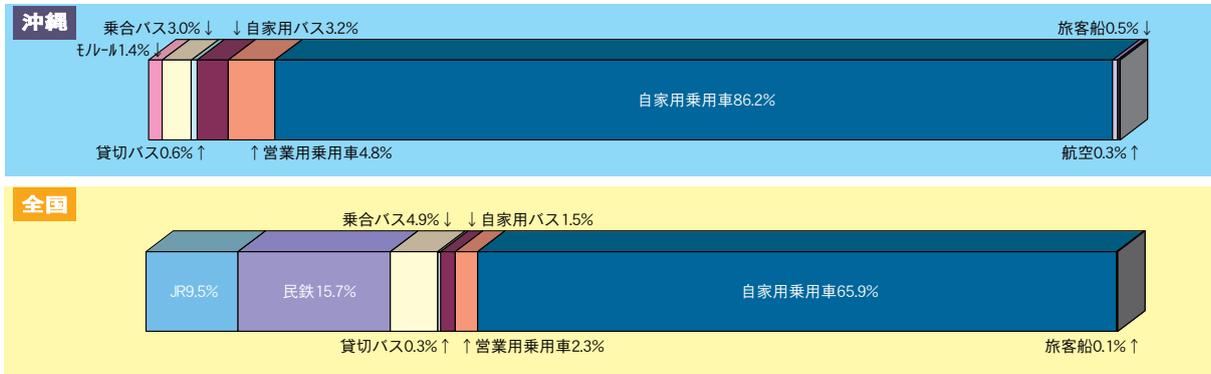
注) 高速自動車国道を含む全道路延長

資料：道路統計年報(2009年度版)

## 1. 機関別旅客輸送分担率の比較(域内量)

全国では、全旅客輸送(域内)のうち約3割を鉄道で分担していますが、本県では、陸上交通のほとんどを道路に依存しており、その役割は重要です。

特に自家用の分担率は年々上昇を続け、平成20年度には約9割となっています。



資料：「平成20年度 旅客地域流動調査」

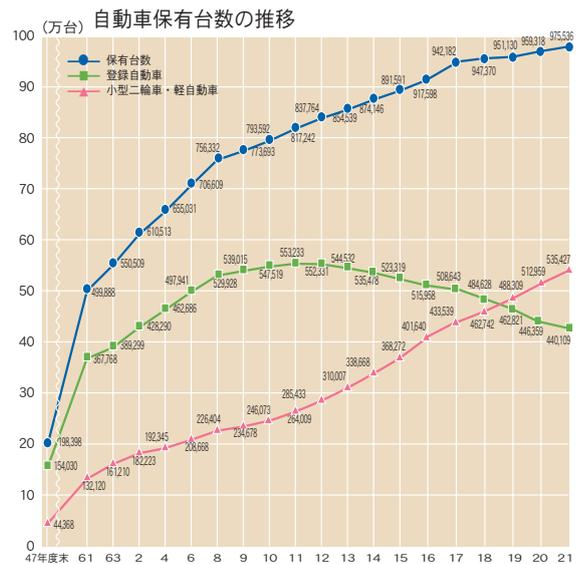
## 2. 自動車保有台数

県内の自動車保有台数は年々上昇を続け、復帰時の昭和47年度に比べ、平成21年度末には約4.9倍となり、一世帯に1.7台になりました。

### ■自動車三輪以上の保有率

項目		S47年度末	H21年度末	伸び率
沖縄	自動車保有台数 (千台)	198	976	4.93
	人口 (千人)	981	1,406	1.43
	世帯数 (千世帯)	237	560	2.36
	人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.69	3.44
	一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.84	1.74	2.09
全国	自動車保有台数 (千台)	21,547	75,024	3.48
	人口 (千人)	107,332	127,058	1.18
	世帯数 (千世帯)	29,577	53,363	1.80
	人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.59	2.94
	一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.73	1.41	1.93

資料: 1. (人口、世帯数)は、総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成22年3月31日現在)」による。  
2. (自動車保有台数)は、社団法人 日本自動車工業会「自動車統計月報(2010年6月号)」による。

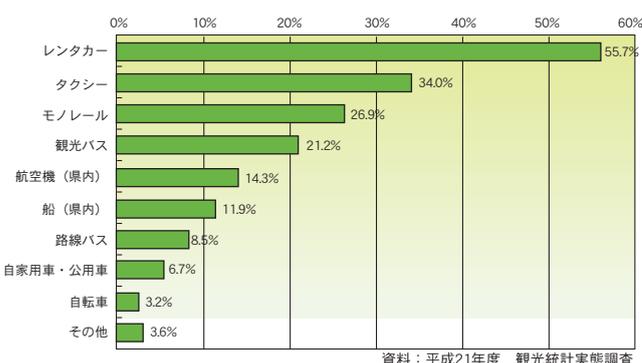


(注)：各年度末の数値である。  
資料：沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(平成22年度版)」

## 3. レンタカーの状況

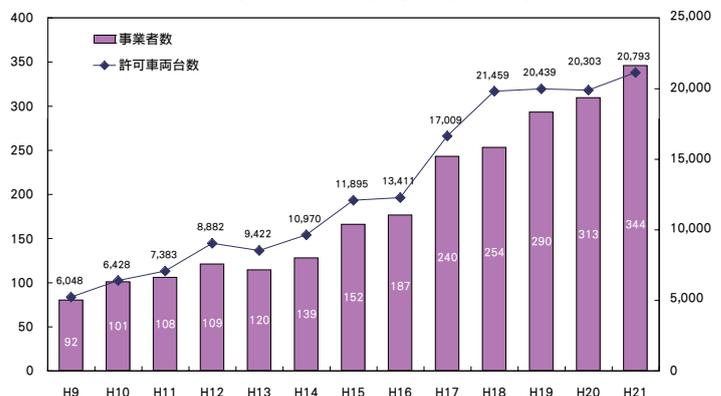
沖縄を訪れた観光客の移動手段はレンタカーが最も多く、また、レンタカー事業所の推移を見ると毎年増加傾向にあり、平成21年度には344事業所(営業所含む)、許可車両台数20,793台となっています。平成9年度と比べて比較すると、事業所数で3.7倍(252事業所増)、車両台数で3.4倍(14,750台増)となっています。

### ■利用交通機関



資料：平成21年度 観光統計実態調査

### レンタカー事業所数及び許可車両台数の推移



資料：沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(平成22年度版)」

### 4.交通量 (平成17年度道路交通センサスより)



国道58号 (那覇市松山)

沖縄本島における幹線道路の交通量は図示の状況です。  
那覇市を中心とする中南部で多くなっており、混雑度も高く道路網や交通容量の不足が原因と思われる交通渋滞が発生しています。

また、休日でも主要観光地周辺の交通量は、平日を上回っています。

(数値は平日24時間交通量)

交通の状況

混雑度:交通量に対する交通容量の比  
(=交通量/交通容量)

<<混雑度の目安>>

【1.0未満】

昼間12時間を通して、道路の混雑がなく、円滑に走行できる

【1.0~1.25】

昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間(ピーク時)である

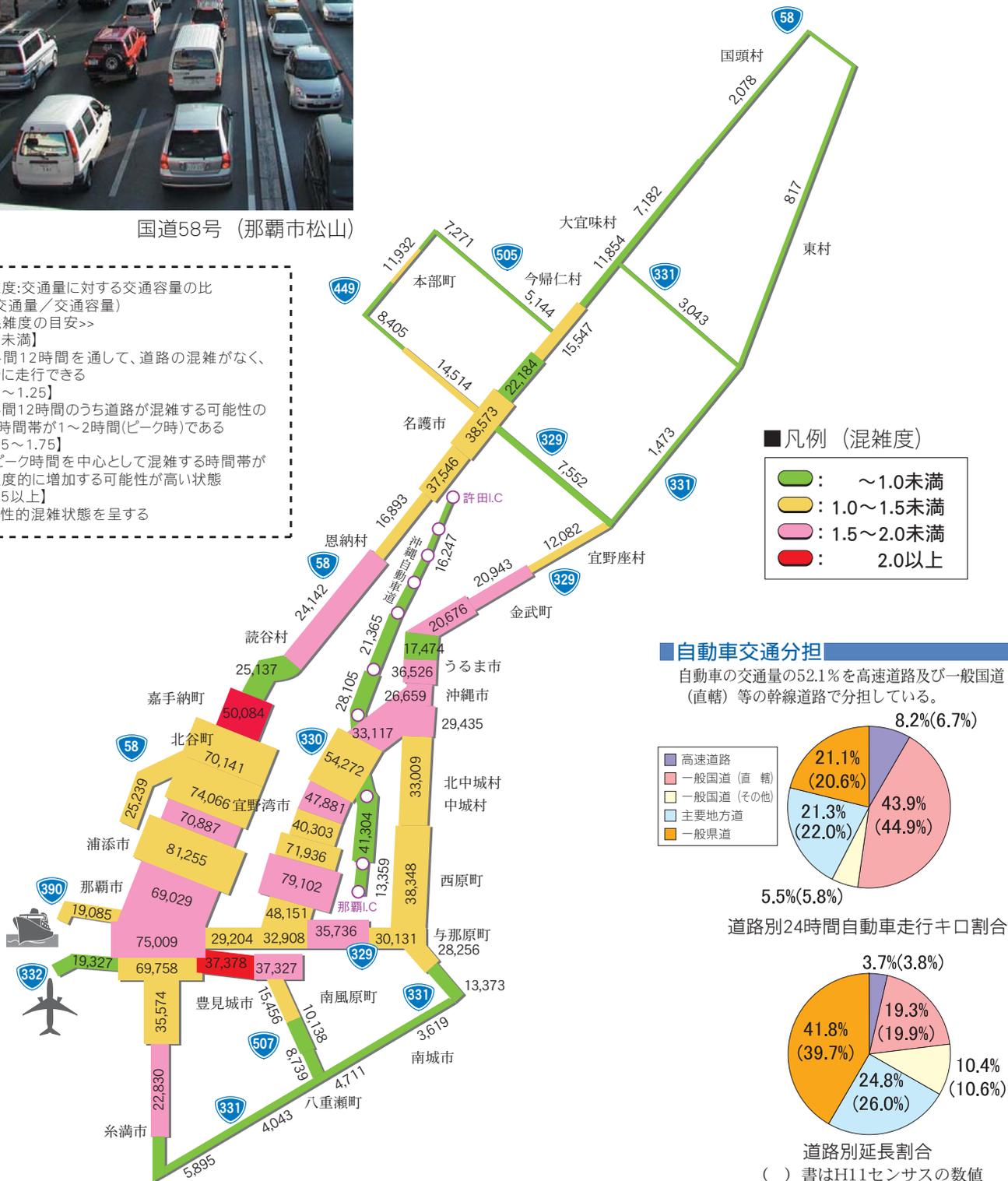
【1.25~1.75】

ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態

【1.75以上】

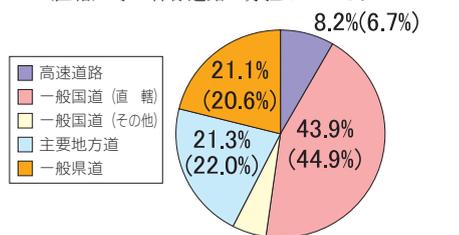
慢性的混雑状態を呈する

■凡例 (混雑度)

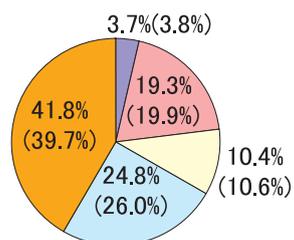


#### 自動車交通分担

自動車の交通量の52.1%を高速道路及び一般国道(直轄)等の幹線道路で分担している。



道路別24時間自動車走行キロ割合



道路別延長割合

( ) 書はH11センサスの数値

## 5.渋滞状況

### ■渋滞

全国ワースト6位、3大都市圏以外では最も大きい渋滞損失時間

沖縄県の1kmあたり渋滞損失時間は4.1万人時間/年・kmと、全国平均の2倍以上で、全国ワースト6位の低水準となっています。これは、3大都市圏以外で最も大きい値であり、全国的に見ても渋滞が著しい地域と言えます。

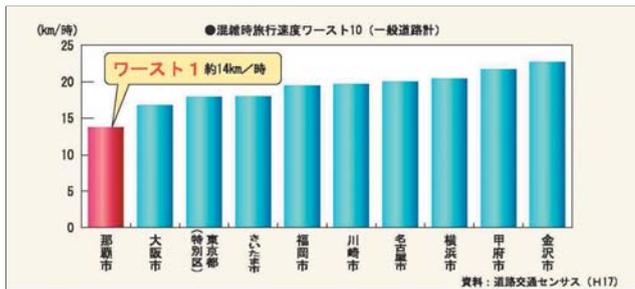


表 1kmあたり渋滞損失時間ワースト地域(H14)

都道府県	1kmあたり渋滞損失時間 (万人時間/年・km)
1 東京都	13.7
2 大阪府	10.8
3 神奈川県	7.6
4 埼玉県	5.4
5 愛知県	4.9
6 沖縄県	4.1
7 千葉県	4.1
8 宮城県	3.6
9 静岡県	3.4
10 京都府	3.2
全国平均	2.0

資料：国土交通省資料

### ■管内における1kmあたり渋滞損失時間ワースト区間

国道58号那覇～北谷において、ワースト10区間中6区間が分布し、特に渋滞が著しい

センサス区間別1kmあたり渋滞損失時間の状況では国道58号において、県内ワースト10区間中6区間を占め、那覇市(1021～23)や浦添市(1019～20)、北谷町区間(1016)にて高まりを見せ、また、国道330号ひめゆり通り(1053)や、国際通り周辺(6041～42)、県庁前交差点(6044)においても著しい状況となっています。

### センサス区間別1kmあたり渋滞損失時間 (H17)

順位	路線名	センサス番号	地点名	1kmあたり渋滞損失時間 (時間/年・km)
1	国道58号	1023	那覇市旭町	2,060,192
2	国道58号	1022	那覇市久茂地2丁目	1,222,195
3	県道42号線	6044	那覇市久茂地1丁目	912,660
4	県道39号線	6042	那覇市字安里	903,685
5	国道330号	1053	那覇市与儀	893,270
6	国道58号	1021	那覇市字天久	763,765
7	国道58号	1016	北谷町字桑江	675,020
8	国道58号	1019	浦添市牧港1丁目	613,620
9	国道58号	1020	浦添市字勢理客	598,457
10	県道39号線	6041	那覇市字松尾	596,156

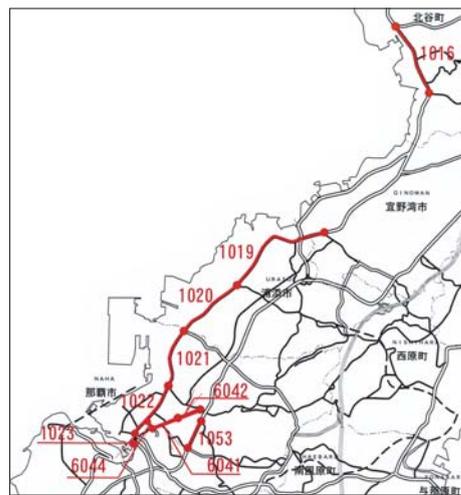


図 センサス区間別1kmあたり渋滞損失時間ワースト10区間位置

### 管内における混雑時旅行速度ワースト区間

117区間が全国直轄国道“DID地区”における混雑時旅行速度の平均以下となっています。

表：沿道状況別平均混雑時旅行速度

沿道状況	混雑時旅行速度(km/h)
D I D	21.0
その他市街部	30.3
平地部	38.6
山地部	39.2
計	35.3

参考：H17道路交通センサス

ワースト順位	路線名	センサス番号	混雑時旅行速度(km/h)	ワースト順位	路線名	センサス番号	混雑時旅行速度(km/h)
1	国道390号	1083	2.8	11	真地久茂地線	6100	7.3
2	那覇内環状線	6097	3.5	12	那覇糸満線	4059	7.5
3	県道39号線	76039	5.0	13	那覇北中城線	4021	7.6
4	南風原与那原線	16113	5.6	14	県道39号線	6040	7.6
5	那覇北中城線	4016	5.8	15	県道46号線	6046	8.1
6	県道28号線	6026	5.9	16	国道507号	1097	8.4
7	那覇糸満線	4060	6.3	17	県道39号線	6041	8.4
8	国道330号	1053	7.1	18	国道331号	1055	8.5
9	那覇北中城線	4017	7.1	19	県道42号線	6043	9.1
10	県道54号線	6055	7.3	20	那覇内環状線	6098	9.8

道路は県民生活の向上と地域経済の健全な発展に必要な公共施設です。このため、県財政のきびしい状況の中で、選択と集中により、効率的かつ効果的な道路整備につとめています。



ワルミ大橋(屋我地仲宗根線)

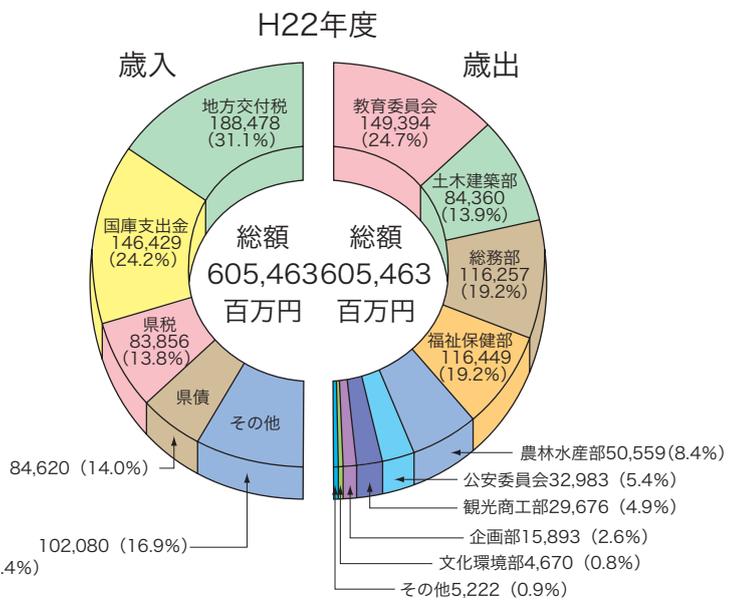
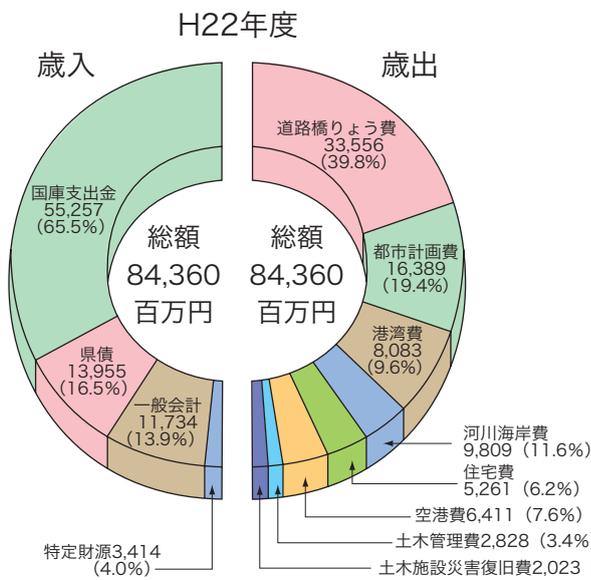
## ■平成22年度予算規模（一般会計）

### ●土木建築部予算（年度当初） 単位：百万円

### ●県予算（年度当初） 単位：百万円

#### 土木建築部予算

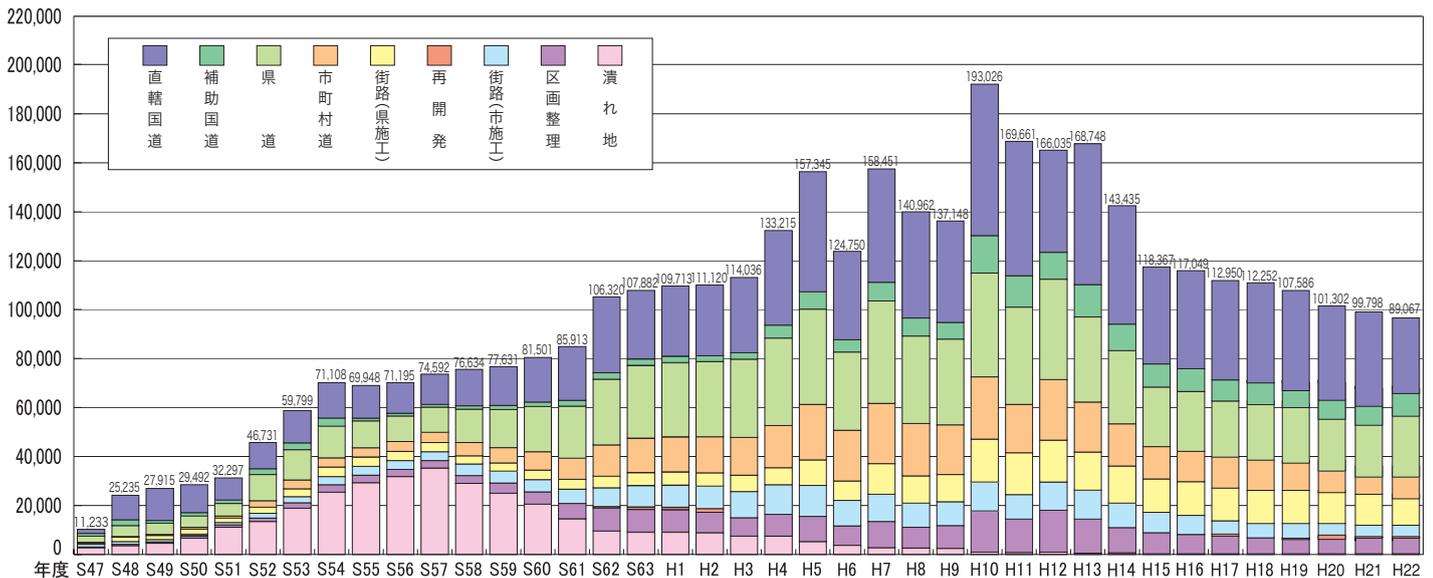
#### 県 予 算



道路の予算

## 沖縄道路事業費の推移(補正後予算ベース)

事業費(単位:百万円)



資料：実施計画説明資料、道路統計年報

注1)直轄、補助事業は、補正後予算ベース(交付金含み)交通安全・調査・再開発・機械は、各管理者に含む。単独費は含まない。各グラフ上の数字は、各年度の合計である。

注2)但しH21については当初予算

## 平成22年度 全国の道路予算

(単位:百万円)

事項	平成22年度 (A)		前年度 (B)		伸率 (A/B)	
	事業費	国費	事業費	国費	事業費	国費
直轄事業	1,504,791	1,139,365	1,789,842	1,269,320	0.84	0.90
補助事業	141,804	93,677	639,136	371,937	0.22	0.25
有料道路事業	1,463,306	102,694	1,435,774	105,379	1.02	0.97
合計	3,109,901	1,335,736	3,864,752	1,746,636	0.80	0.76

注1:この他に、地方道路整備臨時貸付金(国費800億円)、高速道路無料化にむけた取組(国費1,000億円)、社会資本整備総合交付金(国費2兆2,000億円)がある。

## 道路特定財源の経緯

昭和28年	「道路整備費の財源等に関する臨時措置法」が制定され、揮発油税を道路整備のため特定財源とする。
昭和29年	揮発油税を道路特定財源として第1次道路整備五箇年計画が発足
昭和30年	地方道路税、地方道路譲与税の創設
昭和31年	軽油引取税の創設
昭和33年	「道路整備費の財源等に関する臨時措置法」を廃止、「道路整備緊急措置法」を施行、「道路整備特別会計」設置
昭和41年	石油ガス税、石油ガス譲与税の創設
昭和43年	自動車取得税の創設
昭和46年	自動車重量税、自動車重量譲与税の創設
平成15年	「道路整備緊急措置法」を「道路整備費の財源等の特例に関する法律」に改正。道路整備五箇年計画を社会資本整備重点計画に統合。
平成20年 4/1	暫定税率失効、道路整備財源特例法失効
平成20年 5/1	暫定税率復活
平成20年 5/13	道路整備費財源特例法復活
平成20年 12/8	「道路特定財源の一般化等について」政府・与党合意
平成21年 4/1	道路特定財源の一般財源化

## 道路事業のしくみ

